経営比較分析表 (令和元年度決算)

40.00

35.00

30.00

25.00

20.00

15 00

10.00

5 00

0.00

当該値

平均値 26, 47

10.74

5. 70

32.14

1871 N AEDU-1				
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	小規模集合排水処理	12	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0. 08	93. 56	2, 860

人口 (人)	面積 (km²)	人口密度(人/km²)
21, 322	153. 15	139. 22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)
18	0. 01	1, 800. 00

4, 500. 00

4, 000. 00

3, 500. 00

3, 000. 00

2, 500. 00

2, 000. 00

1,500.00

1,000.00

500.00

当該値

グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

類似団体平均値(平均値)

【】 令和元年度全国平均

分析欄

[1,682.85]

経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率が100%未満であるのは、施設 管理費の一部を一般会計繰入金に依存していること が要因である。施設の整備はほぼ終了しており、水 洗化率も100%に達している中で、自主財源を確保 するためには、料金改定が必要になる。

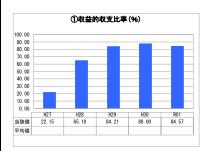
⑤経費回収率が低いこと並びに⑥汚水処理原価が 高いことへの対策と連動するが、平成26年度に水道 料金と併せて料金改定を実施しており、今後は、県 内自治体水準と比較しながら、更なる検討が必要に

, 3。 ⑦施設利用率については、類似団体平均値より高 い値で推移しているが、今後は人口減少に伴い値の

り低いのは、施設の整備がほぼ終了しているためで あるが、今後は施設の老朽化に伴う更新等により、 値が上がることが予測される。

⑧水洗化率については、100%を達しており、今 後も維持し続けていきたい。

1. 経営の健全性・効率性



⑤経費回収率(%)

10.57

37. 82

9.40

37. 98

[36, 18]

21.31

2, 500, 00

2 000 00

1, 500. 00

1 000 00

500. 00

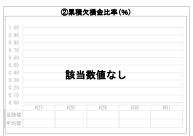
0 00

905.43

平均値 688.46 562.90

1. 980. 35

当該値



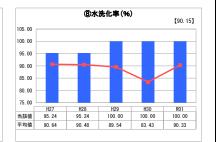
⑥汚水処理原価(円)

H29

1, 144, 38







④企業債務高対事業規模比率(%)

3, 257. 27

平均値 3,188.44 4,170.40 2,559.94 2,834.34 1,748.51

H28

3, 394. 35

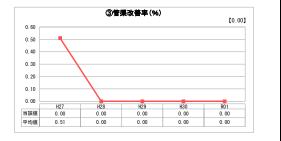
2. 老朽化の状況について

当該施設は、供用開始後10年以上経過している。 管路施設は、耐用年数50年を目途に、順次更新を実 施していく必要がある。一方、処理施設について は、機械設備等の耐用年数の大半が15年~20年であ ることから、設備の状況を注視しながら、機能診断 調査等を実施し、計画的な機器等の更新を進めてい

2. 老朽化の状況







全体総括

施設の整備は終了しており、維持管理の時期を迎えている。また、施設の老朽化や人口減少を踏ま え、自主財源の確保はもとより、効率よい事業運営 を考えていく必要がある。 今後は、長期的視野に基づき、計画的に料金改定

等の施策を実行していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。